

今後の発がん性試験の予定について

1 長期発がん性試験

長期発がん性試験を実施する日本バイオアッセイ研究センター（以下「バイオ」という。）については、平成 21 年度の耐震診断の結果、耐震性能の不足が判明し、平成 28 年度及び平成 29 年度に耐震改修設計、平成 32 年度から耐震改修工事を予定。

長期発がん性試験については、耐震工事前までに、2-ブロモプロパン、酸化チタン、ブチルアルデヒド、アリルアルコールの 4 試験が完了予定であるが、新たな対象物質への試験については、耐震工事及び試験設備の関係で、平成 29 年度及び平成 30 年度の試験開始は休止し、平成 31 年度から予備試験を再開予定。

2 肝中期発がん性試験

肝中期発がん性試験については、バイオでの実施は耐震工事中に休止するが、従前どおり、委託事業として実施予定。

3 遺伝子改変動物による発がん性試験

遺伝子改変動物による発がん性試験については、バイオにおいて、多臓器の標的性を調査するため、平成 29 年度から、各年度に開始する試験（2 か年の試験）として、吸入ばく露試験 1 物質及び経口ばく露試験 1 物質（各物質につき 2 種の遺伝子改変動物）を実施。

遺伝子改変動物による発がん性試験については、バイオの既存施設を改修し、耐震工事中も経口ばく露 2 物質を継続予定。